

大分ケーブルテレコム アナウンサー 工藤友美 大分市自転車ヘルメット着用サポーター就任



▲8月3日(火)就任式の様子(大分市役所)

大分ケーブルテレコム株式会社(本社:大分県大分市、代表取締役社長:荒木 節夫)は、アナウンサーの工藤友美が「大分市自転車ヘルメット着用サポーター」に就任したことをお知らせします。

工藤は、大分ケーブルテレコムのコミュニティチャンネル「J:COM チャンネル大分(地上 11ch)」にて、自転車で県内各地を巡る番組「友チャリ」を担当しています。「友チャリ」は2017年4月放送がスタートし、これまでに県内17市町村を巡って、自然や地域の方々との交流から大分の魅力を届けてきました。番組やSNSを通じて自転車の楽しさも発信しており、その発信力の高さから今回大分市より、「大分市自転車ヘルメット着用サポーター」に委嘱されました。

大分県では「大分県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が2021年4月から施行され、自転車利用者は自転車ヘルメットの着用など安全上の措置を講ずるよう努めることとなりました。「大分市自転車ヘルメット着用サポーター」は、自転車利用時に積極的にヘルメットを着用・交通ルールの遵守に努め、自転車ヘルメット普及はもとより交通安全意識の高揚を図ることを目的としたものです。

この度「大分市自転車ヘルメット着用サポーター」には3団体と13名の個人が委嘱されました。工藤は2022年3月31日までサポーターの一員として活動していきます。

<活動内容>

- ・自転車乗車時に必ず自転車ヘルメットを着用する
- ・街頭啓発等の啓発活動に参加する
- ・身の回りの人や、SNS等の媒体を通じて自転車ヘルメット着用の呼びかけをする

大分ケーブルテレコムは、これからも番組などを通して地域の魅力をお伝えしていくとともに「自転車が似合うまち おおいた」を目指す活動に取り組んでまいります。

大分ケーブルテレコム株式会社について www.jcom.oct-net.ne.jp/

大分ケーブルテレコム株式会社(本社:大分県大分市)は、大分県下11自治体でケーブルテレビ、インターネット、固定電話、モバイル等を提供しているケーブルテレビ事業者です。JCOM株式会社(J:COM)のグループ局として、先進性のある高品質な情報・エンターテインメントの提供を通じ、地域社会の発展に寄与することを目指しています。また、「J:COMチャンネル大分」(地上デジタル11ch)、「J:COMホルトチャンネル」(地上デジタル12ch)で地域情報番組を放送しています。